

八丁目山車人形「静御前」が 潮来市指定文化財に指定されました

令和5年7月25日付けで、八丁目の山車人形「静御前」が潮来市指定文化財に指定されました。今回の指定により、市指定文化財は93件となり、国・県指定を含めた指定文化財の件数は124件になりました。

名 称：山車人形「静御前」
所在地：潮来市潮来856番地
八丁目会館
指定区分：有形民俗文化財



概要

八丁目の山車人形「静御前」は、明治8年に東京の人形師名工である古川長延によって製作され、明治23年に佐原下分町から八丁目に譲り受けられました。人形は製作から現在に至るまで140年余りが経過しているながら、適切な維持管理がなされており保存状態が良いことや、これまで潮来祇園祭禮時に巡行してきた歴史があることから、文化財として貴重で価値があり、後世に残していくことが望ましいという結論に至り、今回指定となりました。

地域おこし協力隊通信 第52回



リポーター…
羽下 健太 隊員

こんにちは！空き家講座を受講中の潮来市地域おこし協力隊の羽下です。今月は密かに始めた趣味の手話を紹介いたします。

これまで沢山の言語に触れてきて、あいさつなど簡単な単語を覚えては、現地で実践して仲良くなるきっかけを作ってきました。そんな私がなぜ手話を？と思うかもしれません。

実は潮来に来る前に、職業訓練校で、介護の勉強をしていました。その時に出会った盲導犬を連れた視覚障がいの方とお話する機会があり、色々なことを教えていただきました。私の中でまた新しい世界に興味を持つきっかけとなりました。視覚障がいの方とは比較的容易にコミュニケーションがとれますが、聴覚障がいの方と話す場合は少し異なる形になることを改めて感じ、知りたいと思うようになりました。

それからは手話に関するYouTubeや映画を観るようになり、「Codeコード あいのうた」、「聲の形」



潮来二中講演時、手話で挨拶



空き家講座時、コンセプトを決める際に用いたカード

などには有名ですが、最近はい「ケイ」目を澄ませて」という作品が感動でした。潮来市に来て早々、広報に手話講座の募集があり、すぐに申込みました。今では週一回位のペースで習っています。

まだまだ基本的なことしかできませんが、これまでに幅広の方とコミュニケーションがとれることは楽しいです。また、先日潮来第二中学校で講演をした際に、手話で自己紹介にもチャレンジしました。

コミュニケーションの手段は、手話だけでなく、口話や指文字、筆談、スマホもありません。そして手話も地方や国によって異なることが多いそうです。なかなか方言や外国語みたいですね。もし興味があったら、先ほどの映画を観てください。

そして空き家講座も、もちろん勉強中で、9月30日には一般公開の空き家活用アイデア発表会・交流会が、潮来市立中央公民館であります。お楽しみに！